早期膵がんの９０％を検出する血液検査、パンレグザ

　このたび、診断が極めて困難とされる早期膵がんの 90%を、血液の遺伝子発現パターンによって検出することに成功し、研究成果が「Scientific Reports」誌に掲載されてました。

　同研究により、膵がん患者では極めて早期の段階から血液の遺伝子発現に変化が生じている可能性が明らかになり、従来の腫瘍マーカーに比べ高い検出感度を示しました。